

地震の種類

災前を尽くす

下多度地区社会福祉協議会
防災対策部
連絡先 小林 57-2325

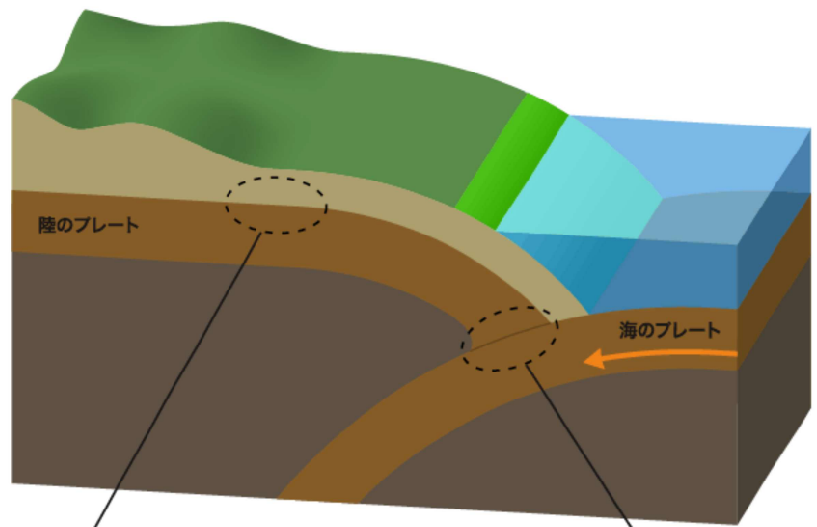
地震を知って 地震に備える

地球の表面は海や陸など10数枚に分かれた、厚さ数10～200kmのプレート(岩盤)で覆われています。

海の下では新しいプレートが生まれ、年間数cmの速さで広がって陸のプレートに押し寄せます。

海のプレートは陸のプレートより重いため、その下に入り込みます。

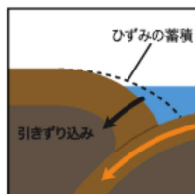
この圧力によってプレートにひずみがたまり、それが限界に達すると、亀裂が入ったり大きく動いたりします。これが地震なのです。



地震で地表に現れる活断層 (タイプ2)

海溝型地震が起こるしくみ (タイプ1)

海溝型地震が起こるしくみ (タイプ1)

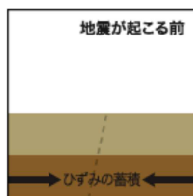


陸のプレートの先端が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する

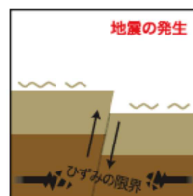


ひずみが元に戻ろうとして地震が発生。津波を伴う場合もある

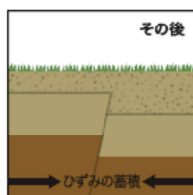
地震で地表に現れる活断層 (タイプ2)



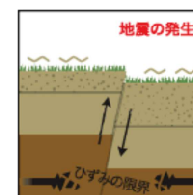
プレートの動きによる圧力がかかり、岩盤の弱い所にひずみが蓄積



ひずみが限界に達すると弱い所がずれて、地震が発生



長い年月をかけて別の地層が堆積し、断層のずれが分からなくなる



再びひずみが限界に達して断層がずれ、地震が発生する

内閣府のHP 防災情報のページから引用しました

地震の種類

海溝型地震

数十年から数百年の短期間で地震を繰り返します。

東日本大震災や、今後発生が見込まれる南海トラフ大地震が代表例です。

南海トラフ大地震はM8～9で、今後30年間の発生確率は70～80%とされています。

内陸型地震
(活断層型)

活断層による地震は、数千年単位の間隔で発生します。

この地域には、養老-桑名-四日市断層帯があり、地震が発生すればM8程度、西側が東側に対して相対的に約6m高まると推定されています。